

土砂搬出のペース上がる 辺野古新基地建設

2019年6月5日 13:21

埋め立て用の土砂を積んで、琉球セメントの棧橋を離岸する土砂搬出船=5日午前11時50分ごろ、名護市安和



【辺野古問題取材班】米軍普天間飛行場移設に伴う名護市辺野古への新基地建設で、沖縄防衛局が4日から名護市安和の琉球セメント敷地内の土砂の仮置き場を活用し始めたため、5日は土砂の海上搬出のペースが上がった。

現場で抗議する市民によると、4日以前は同敷地内にある棧橋を午前中に入出港する土砂搬出船は、1隻程度だったが、5日は2隻が土砂を積んで離岸した。

新基地建設工事のペースも加速するとみられる。

土砂搬出船を監視していた市民は「これまで多くても一日に土砂の海上搬出は3隻だったが、今日は4隻いくかもしれない」と警戒している。【琉球新報電子版】

防衛局が許可なく護岸構造を変更 辺野古新基地工事、公有水面埋立法違反か

2019年6月7日 05:00

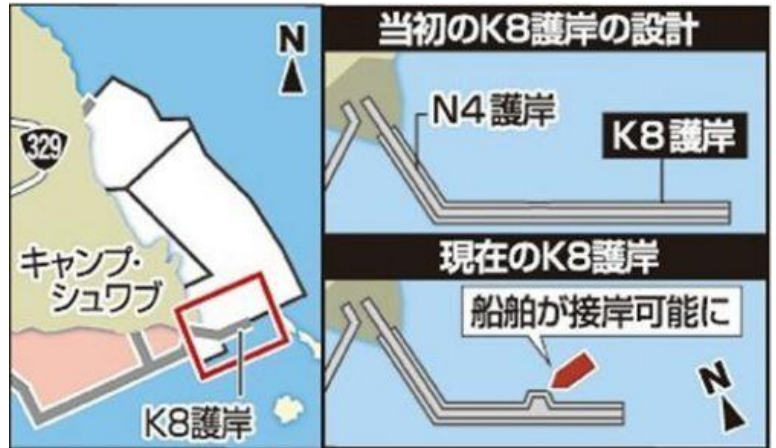
沖縄防衛局が新たに埋め立て用土砂の陸揚げ場所として使用を計画しているK8護岸（手前）。当初県に報告していた護岸の構造が許可なく変更されている=6日、名護市辺野古（小型無人機で撮影）



米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設を巡り、沖縄防衛局が新たに埋め立て用土砂の陸揚げに使用する予定のK8護岸で、県の許可なく当初の設計と異なる構造を加えている様子が6日、確認された。本紙記者が小型無人機で撮影した。土砂運搬船を接岸する場所とみられる。埋め立て承認を受けた際に伝えていた設計を変更する場合、県の承認が必要となるが、防衛局は設計変更を申請しておらず、県は行政指導を含めた対応を検討している。

県は昨年 8 月に埋め立て承認を撤回しており、工事中止を求めている。防衛局は県の処分は無効だとして工事を続けているが、今回、小型無人機での取材で当初予定されていなかった構造を加えていることが明らかになった。

護岸を土砂の陸揚げのための棧橋として使用する目的外使用に加え、無許可の設計変更につながる可能性がある。その場合、仮に防衛局が主張するように 2013 年の埋め立て承認が復活していたとしても、県の承認を得ないまま設計を変更して工事していることになり、埋め立て承認の根拠法(公有水面埋立法)に違反することになる。



防衛局が既に陸揚げに使っている別の護岸についても構造の変更は確認されていたが、県幹部は「(今回は)より明らかな変更だ」との見方を示した。

防衛局は週明けの 10 日にも K8 護岸を使って土砂を陸揚げする構えだ。一方、新基地建設に反対する土木技師の北上田毅氏は「陸揚げに使うには空間が狭い。現状で陸揚げを始めても作業の効率化にはつながらない。拡張も予定しているのではないか」と指摘した。

防衛局は週明けの 10 日にも K8 護岸を使って土砂を陸揚げする構えだ。一方、新基地建設に反対する土木技師の北上田毅氏は「陸揚げに使うには空間が狭い。現状で陸揚げを始めても作業の効率化にはつながらない。拡張も予定しているのではないか」と指摘した。

俳優・津嘉山正種さん「戦争につながる基地建設は絶対に反対」

辺野古座り込みに参加

2019 年 6 月 7 日 16:31

米軍キャンプ・シュワブゲート前の座り込みに参加した

津嘉山正種さん=7 日、名護市辺野古



【辺野古問題取材班】米軍普天間飛行場の移設に伴う新基地建設工事が進む名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブ前では 7 日、約 30 人の市民が座り込み「辺野古を返せ」「基地はいらない」と声を上げた。那覇市出身の俳優・津嘉山正種さんもゲート前を訪れ、「戦争につながる基地建設は絶対に反対だ」と話し、座り込みに参加した。

海上では沖縄防衛局が大浦湾側にある K9 護岸からの土砂搬入作業を続けた。基地建設に反対する市民らがカヌー

7 艇と船 1 隻で抗議した。【琉球新報電子版】

辺野古K8護岸での土砂陸揚げ 防衛相「問題ない」 目的外使用にはあたらないと

の見解 沖縄県は行政指導する構え

2019年6月8日 14:04

岩屋毅防衛相



【東京】名護市辺野古の新基地建設を巡り、岩屋毅防衛相は7日の記者会見で、週明け10日にも予定している「K8」と呼ばれる護岸での埋め立て土砂陸揚げについて、県が指摘する目的外使用には当たらないとの見方を示した。県は、政府が当初護岸を棧橋として利用する予定はないと説明していたとして行政指導する構えだが、岩屋氏は「問題はない」と述べた。

沖縄防衛局は現在埋め立て土砂投入のために使っている護岸「K9」に加え、週明け10日にも「K8」を使った作業を開始する予定で、工事を加速させる考え。

岩屋氏は会見で、政府が県に示した埋め立て申請に関する施工方法について「具体的な陸揚げ場所までは特に限定されているわけではない」と強調。その上で「K8護岸からの埋め立て材搬入については問題がないと考えている」と述べた。

辺野古新基地建設 土砂陸揚げに新たな護岸使用 国、工事加速へ

2019年6月11日 10:58

岩屋毅防衛相



【東京】名護市辺野古の新基地建設を巡り、岩屋毅防衛相は11日の閣議後会見で、辺野古崎東側の「K8」と呼ばれる護岸を使った埋め立て土砂の陸揚げに同日から着手すると明らかにした。岩屋氏は陸揚げについて「所要の準備が整ったので本日から開始する。沖縄県にも報告済みだ」と述べた。

防衛省は埋め立て土砂投入のために護岸「K9」を使用してきたが、新たに別の護岸も加え作業を加速させる考え。【琉球新報電子版】

設計変更の申請をしていない新護岸から土砂陸揚げ 沖縄・辺野古新基地建設

でK8護岸から 国は工事の加速化狙う 2019年6月11日 13:10

【辺野古問題取材班】名護市辺野古の新基地建設を巡り、沖縄防衛局は11日午後0時58分、「K8」と呼ばれる護岸を初めて使い、埋め立て土砂を陸揚げした。これまでは埋め立て予定地北側の護岸「K9」のみを使用して土砂を陸揚げしていたが、新たなK8護岸も加えることで工事を加速化させる狙いがある。

この日、K9護岸の使用も確認された。

「K8」護岸（左側）を初めて使い、台船の埋め立て用土砂をダンプへ積み込んで陸揚げする作業員ら＝11日午後1時4分、名護市辺野古（小型無人機で撮影）



埋め立て申請時に政府がK8護岸を棧橋として利用する予定はないと説明していたとして、県は目的外使用（留意事項違反）として行政指導する構えを見せている。また本紙小型無人機で撮影したところ、県の許可なく当初の設計と異なる構造を加えている様子も確認された。土砂運搬船を接岸する場所とみられる。埋め立て承認を受けた際に伝えていた設計を変更する場合、県の承認が必要となるが、防衛局は設計変更を申請していない。【琉球新報電子版】

K8護岸に接岸した台船から、次々と土砂が積み込まれるトラック＝11日午後1時ごろ、名護市の大浦湾



玉城知事「暴挙以外の何ものでもない」 辺野古新基地建設で新護岸からの土砂陸揚げに

2019年6月11日 13:42

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に向けて沖縄防衛局が2カ所の護岸から埋め立て用土砂を陸揚げした11日、玉城デニー知事は記者団に「暴挙以外の何ものでもなく、許されない」と語った。2カ所とも当初計画にない係船機能を県の許可無く追加したとし「法令順守の意識を欠いている」と指摘した。

そもそも埋め立て承認撤回が有効であるという県の立場を強調し「違法な工事を継続していることは到底看過できない」と批判した。防衛局に工事中を求める行政指導文書を速やかに提出すると説明した。【琉球新報電子版】

沖縄県、防衛局を行政指導 当初計画になかった辺野古K8護岸から土砂陸揚げ

2019年6月12日 10:18

【辺野古問題取材班】米軍普天間飛行場の移設に伴う名護市辺野古の新基地建設で、沖縄防衛局は11日、米軍キャンプ・シュワブ沖合の辺野古崎東側の「K8」と呼ばれる護岸を初めて使い、船で運んできた埋め立て用土砂を陸揚げした。陸揚げはこれまで使用してきた埋め立て予定地北側の「K9」護岸と合わせて2カ所目となり、工事を加速させる狙いがある。玉城デニー知事は同日、県庁で記者会見を開き「海上搬入や陸揚げ作業の強行は、暴挙以外の何ものでもない」「法令順守の意識を欠いているものと疑わざるを得ない」などと強く批判した。県はK9とK8護岸での海上搬入は当初の計画にはない係船機能だとし、工事中止を強く求める行政指導文書を沖縄防衛局に送った。



設計変更の申請をしていない「K8」護岸(左側)を使用し、台船から埋め立て用土砂をトラックに積み込んで陸揚げする作業が確認された＝11日午後1時6分、名護市辺野古(小型無人機で撮影)

K8護岸での陸揚げ作業は午後1時ごろから始まった。接岸した台船に重機が乗り込み、護岸上を走ってきたダンプに土砂を積み込んだ。約20台が埋め立て区域とK8護岸を何度も往復し、土砂を投入した。K9護岸を使用しての陸揚げ作業も確認された。

基地建設に反対する市民らは、船から「違法工事に手を貸すな」と抗議。キャンプ・シュワブのゲート前でも抗議した。11日は計151台の大型車が工事資材などを基地内に搬入した。

K8護岸からの陸揚げを巡っては、埋め立て申請時に政府が棧橋として利用する予定はないと説明していたとして、県は目的外使用(留意事項違反)と指摘している。

本紙小型無人機で撮影したところ、県の許可なく当初の設計と異なる構造を加えている様子も確認された。埋め立て承認を受けた際に伝えていた設計を変更する場合、県の承認が必要となるが、防衛局は設計変更を申請していない。

岩屋毅防衛相は7日の会見で、政府が県に示した埋め立て申請に関する施工方法について「具体的な陸揚げ場所までは特に限定されているわけではない」として、K8護岸からの陸揚げは問題ないという認識を示していた。



沖縄県が「違法」と指摘しているのに... 2日連続で辺野古K8護岸から土砂陸揚げ

2019年6月12日 11:46



【辺野古問題取材班】米軍普天間飛行場の移設に伴う名護市辺野古新基地建設で、沖縄防衛局は12日午前、米軍キャンプ・シュワブ東側にある「K8」護岸から埋め立て土砂を陸揚げする作業を始めた。土砂の陸揚げは2日連続で、11日に接岸した台船とは別の船が接岸し、午前10時30分過ぎから陸揚げ作業を始めた。

K8護岸を巡っては当初の計画になく、県は目的外使用だとして沖縄防衛局に行政指導をして違法性を指摘している。12日午前には市民らがカヌーで抗議交行動を展開した。【琉球新報電子版】

土砂の陸揚げ 別護岸で開始

政府は11日、沖縄県の米軍普天間飛行場(宮野湾市)の名護市辺野古移設で、これまで土砂運搬船の積橋として使っていた埋め立て予定海域北側の「K9」護岸とは別の、南東にある「K8」護岸も利用して土砂の陸揚げを始めた。運び込む土砂の量を増やして工事を加速させる狙いだ。移設に反対する県は反発を強めた。



県は政府の対応を護岸の目的外使用だと批判しているが、岩屋毅防衛相は「具体的な陸揚げ場所は限定されていないわけではない」と述べている。

新たな護岸からの陸揚げは環境への配慮を著しく欠いているなどと指摘し、停止を求める行政指導文書を防衛省沖縄防衛局に出した。政府は、南側の護岸に囲まれたエリアのうち、約6・3haの区域で、昨年11月から土砂投入を開始した。今年3月からは西隣の約33haの区域にも投入を始めて

2019/06/12 朝刊 (社会)

辺野古反対へ全国行脚

玉城知事 初日は東京でシンポ



シンポジウムで「日米安保や民主主義の問題を自分ごととして考えてほしい」と訴える玉城知事(右端)

札幌開催も調整

沖縄県の玉城知事(右)が全国各地を巡り、米軍普天間飛行場(宮野湾市)の辺野古移設問題の解決を訴える同県主催の「全国キャラバン」が11日、始まった。初日は東京都内でシンポジウムを開き、県民投票で移設反対の民意が示された後も辺野古埋め立て工事が続く現状を訴えた。今後、道内での開催も検討するという。

基調講演で玉城知事は移設工事について「このまま続けば建設費用は約兆5000億円、工期は13年以上かかる。その間普天間の危険性を放っておくのか」と指摘。「辺野古移設が唯一の解決策」という政府の説明について「なぜ『唯一』と言えるのか、私たち沖縄県民は説明を受けたことがない。こういうことが続くと日本の民主主義は成り立たない。それを全国の皆さんに伝えたい」と話した。

2月に行われた県民投票は、若者を中心とする住民グループが実現に向けて署名運動を行った。グループ代表を務めた沖縄出身の大学院生元山仁士郎さん(27)もシンポジウムで登壇し「県民投票の後、全国の地方議会でも移設中止や移設先

の議論を求める意見書が相次いだ。皆さんの地元でも同様の取り組みができることを広めてほしい」と訴えた。パネルディスカッションも行われ、基地問題に詳しい大学教授やジャーナリストから「軍事的には移転先を辺野古にこだわることには合理性はなく、唯一の解決策とは言えない」などと指摘する声が上がった。

沖縄県は今後、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡の5都市でもキャラバンを行う方向で調整している。(大城道雄)